



PERSON

[人]

LSIソリューション事業部
ソリューション第三部 第2担当 参事
細山 智久



“点から面へ”の視点で、培った技術の拡散・継承を

培ったスキルとそれを活かす機会がミート

入社以来17年間、東芝（現東芝メモリ）で半導体製品の評価業務に携わっています。

最初の10年間は、アナログやミックスドシグナル分野の評価を行いました。折しも、PCI-Expressの技術が台頭してきた時期で、高速SerDes（シリアルパラレル相互変換回路）技術の評価手法を身に付けるために、米国へ武者修行に行く機会も得て、評価技術者としての技術を磨いてきました。その後2010年からは、培ってきた技術をメモリコントローラ開発へ活かすことができ、これまでにe-MMC（組込み用マルチメディアカード）やSDカード、UFS（Universal Flash Storage）などの評価を経て、現在は次世代のメモリデバイス開発業務に従事しています。

一口に評価といっても実際には仕様設計工程の段階から幅広く開発に参画しています。評価する回路を設計段階から理解することで発生した問題に対して柔軟な対応ができるようになり、誰よりも早く解決策を導き出せると自負しています。

現在、20人規模のプロジェクトチームでマネージャを担当していますが、私のプロジェクトには評価技術者のほか、アーキテクチャ設計や回路検証を担当する技術者を擁しています。それぞれのメンバーが複数の製品開発を横断して仕事を進めているため、情報共有が容易にできることが強みで、開発中にバグやエラーが発生したときには解析を求められるケースがあります。技術力だけでなく提案力・説得力も必要となる仕事ですが、問題を解決できたときはチーム全体の大きな喜びとなります。

情報とノウハウを共有しながら後進育成を

数年前から、毎週のように技術の共有機会としてワーキンググループを開催しています。私たちの仕事では、幅広い知識を

持つこと、点ではなく面で捉えてスキルと視野を広げていくことが大切だと考えており、情報や事例などを共有していくことでメンバー全員が育っていかねばと願っています。今は、製品開発を進める上で発生した課題やトラブルに即応できる評価のスペシャリスト軍団（「LSI救急隊」と命名）を立ち上げたいという目標も持っています。それを実現するには、1つの技術だけに秀でているだけではなく“隣の技術”を知り、それを数珠つなぎで拡散していくことが大切です。今後もワーキンググループを通じて技術拡散できるようにプロジェクトの技術活動を継続していきます。

私のライフワークに、幼少より続けているセーリングがあります。現在も自分たちのチームで活動を続け、J24クラス世界選手権にも日本代表として出場し、海外遠征もしています。海では命に関わるリスクと向き合うことになりませんが、私の座右の銘は「準備8割」。事前に多くの準備を行うことで、リスクを回避します。アナログとロジックの境界の評価は高いスキルだけでなく多くの準備が必要となり、このあたりもセーリングから学ぶことが少なくありません。もう1つ、セーリングから学んだのは、チーム作りの大切さです。一人ひとりの技術向上も欠かせませんが、やはり団体競技のため全員の相互作用、相乗効果でこそ、力を発揮できます。今後も、セーリングから学んだことをプロジェクトチーム運営にも活かしながら、チームの士気を鼓舞し、目標を明確に定め、事前に準備してきたことを活かして製品開発をリードしていきたいと考えています。



本人所属チームのレースの様子（写真の左から2番目が本人）
World Championship 2015 Germany Boltzenhagenにて

Vol.22 2017年11月1日発行



発行人：長田 茂
発行：東芝情報システム株式会社
〒210-8540 川崎市川崎区日進町1番地53（興和川崎東口ビル）
連絡先：技術マーケティング部
E-mail wave@tjsys.co.jp URL <https://www.tjsys.co.jp/>



本技術誌は、適切に管理された森林からの原料を含む「FSC認証紙」と、「植物油インキ」を使用しています。